



# 白十字八国苑開設 25 周年に寄せて

文京学院大学人間学部 教授 鳥羽美香

白十字八国苑開設25周年おめでとうございます。私は、白十字八国苑の開設準備の時期にあたる、平成2年5月に相談員として就職いたしました。当時は「高齢者保健福祉推進十ヵ年戦略」が発表されて間もなくの頃で、在宅福祉に注目が集まるようになった時期でした。そして平成2年6月に白十字八国苑は東村山市で第1番目のデイサービスとして誕生しました。市にとって初めてのデイサービスということで、何もかも手探りでした。当初は、基本事業、給食サービス、入浴サービス、機能訓練で開始し、1日の利用者数も15名という小規模なものでした。

従来東京白十字病院で、機能訓練の一環として、グループ体操や料理、籠編みなどを実施していましたので、悴田OTの発案で、最初からデイに取り入れることが出来ました。また、諏訪町で活動しているボランティアさん達も、最初から積極的に活動に参加して頂き、様々な趣味活動などの場面で貴重なご意見を頂きました。

こうして地域の方々や利用者の方々に支えられ、皆の知恵を出し合って、時にはデイサービスとは何か？と議論しながらサービスを作っていました。中でも、地域の病院のSTの先生のご支援で平成6年4月より言語リハビリ教室「八国の

森の会」を発足させたことは貴重な思い出になっています。失語症や構音障害に悩む高齢者の方達や、そのご家族の方達へのサービスとして発足しましたが、当時はデイサービスで言語リハビリを実施しているところは都内でも殆どなく、先駆的な取り組みでした。現在では益々発展して、利用者の方々も増えていることと思います。

このように私が勤めていたころの事が、色々と思い出されますが、一つ一つがとても貴重な思い出であり、八国苑での実践経験が私自身の財産になっていることを感謝いたします。

また、現在では介護保険制度に基づいて、サービス内容も多彩になり、規模も大きくなっていますし、あおば八国苑も出来、地域の拠点機能がより一層強化されていることと思います。これから益々高齢化が進む中、地域福祉の担い手としての重要性が増していくと思われまます。

今後の八国苑の更なるご発展と職員をはじめとする関係者の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

